

<作者コメント>

本気出します。

2023年の  
ミラマカにあるよ

前の「ヨコテ・ザ・テストゲーム」も

見て 365P〜

横  
から  
手...

ああ

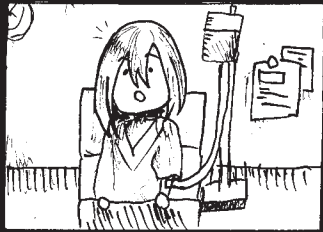
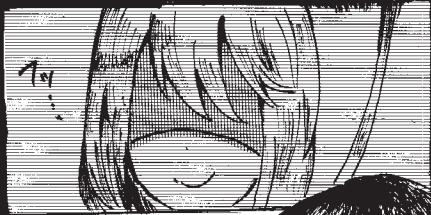
ズツ...

<<次ページから絵があります ※イメージ図

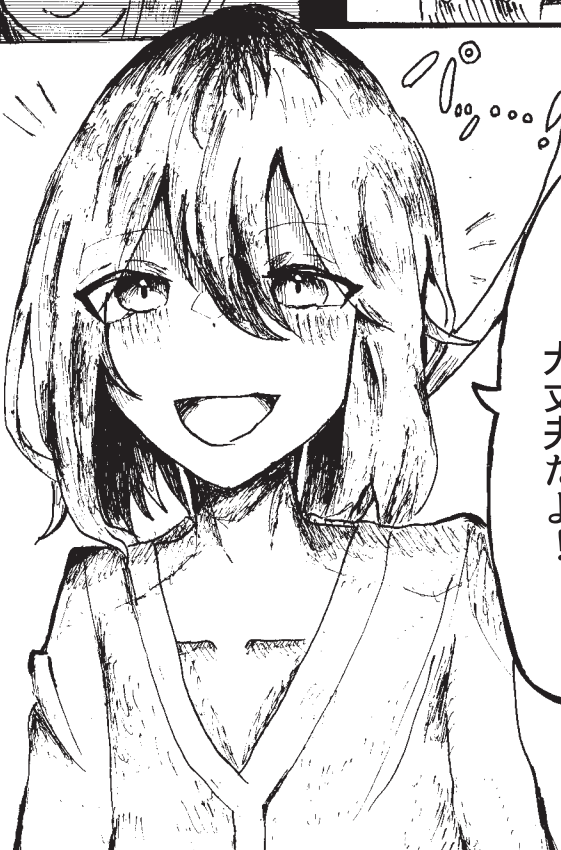
雪・・・  
大丈夫・・・？



私の友達は



すごく身体が  
弱かった



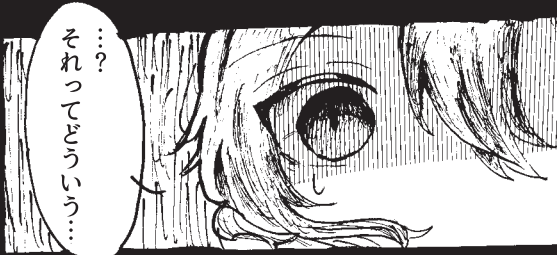
・・・うん！  
大丈夫だよ！

——ごめんね



あ、  
そうだ  
灯華ちゃんに言わなきゃ  
いけないことがあるの

その言葉の  
意味を



…?  
それってどういう…

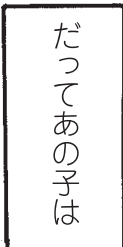
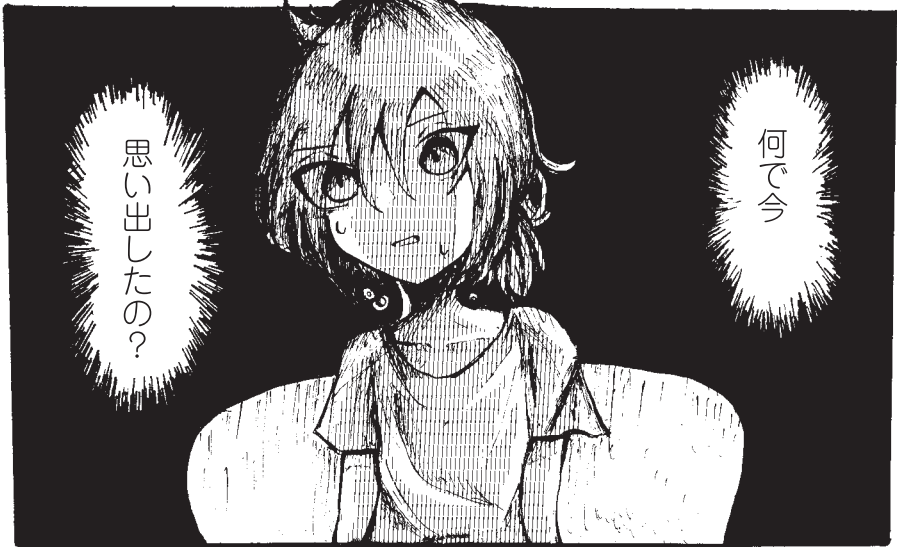
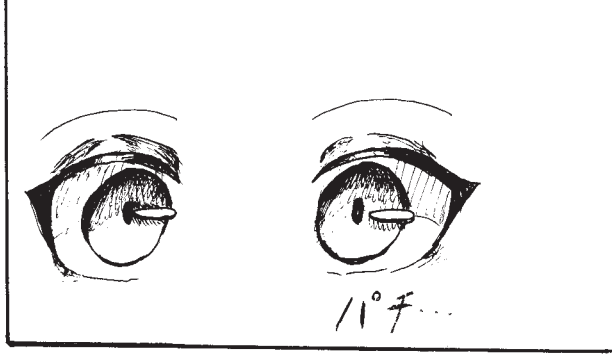
私はたった  
数日後に

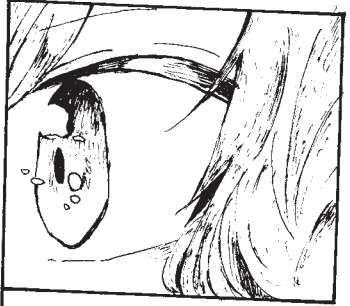
知ることになった



起死回生





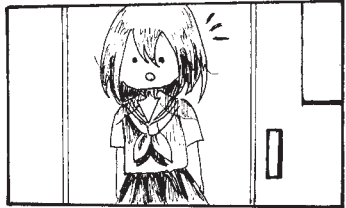


こっくに  
居るじゃないか



がん  
がん

灯華ちゃん！  
おはよう！



って  
寝グセすごいよ！  
どうしたの!?

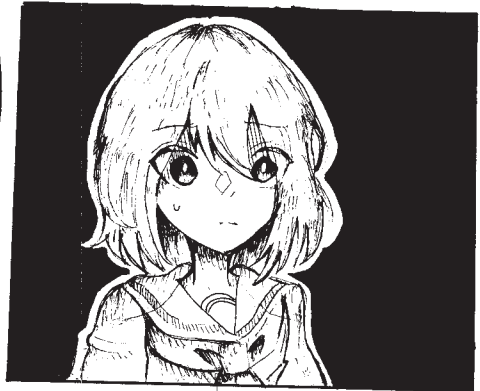
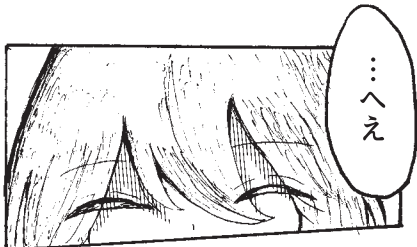


はは：  
夢にうなされて  
寝坊しちゃって…

ん？  
それってどんな夢？



えっと…

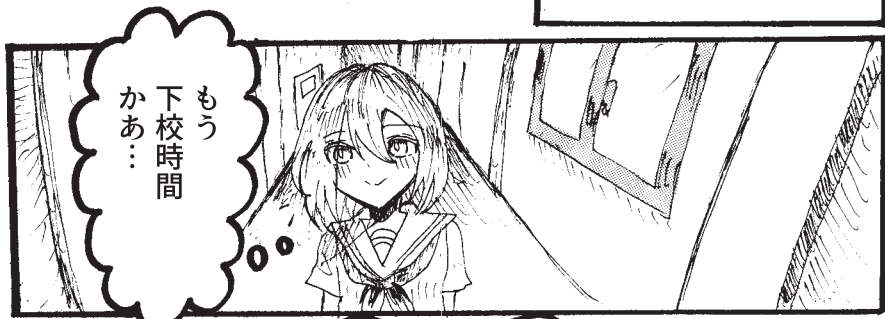




イヤな夢だね

ギョッ



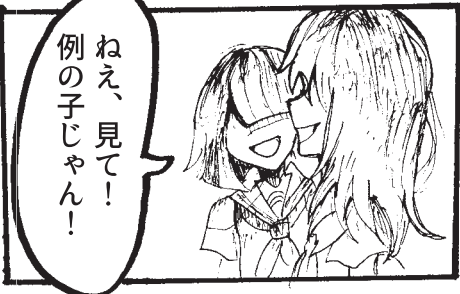


もう  
下校時間  
かあ…



さあ、よく  
分からないけど  
噂によると…

えっ…本当に  
あの子なの？



ねえ、見て！  
例の子じゃん！

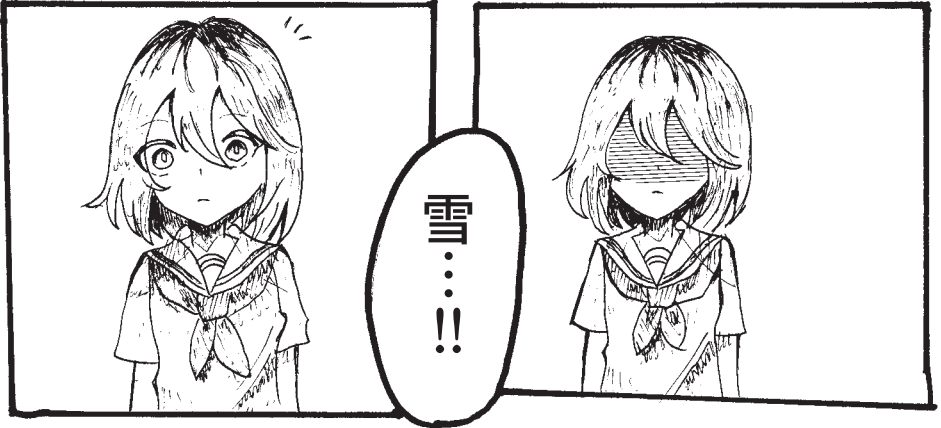
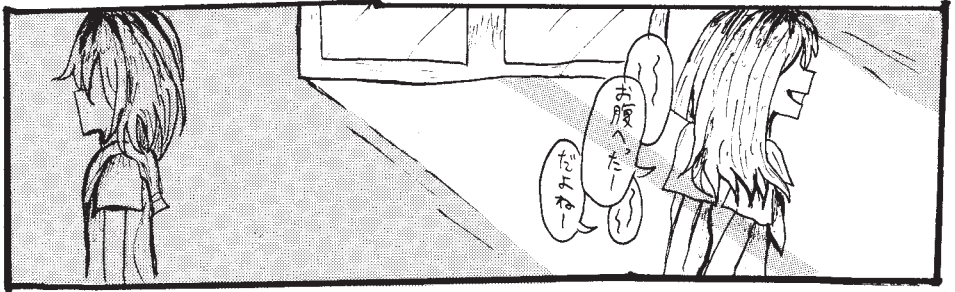


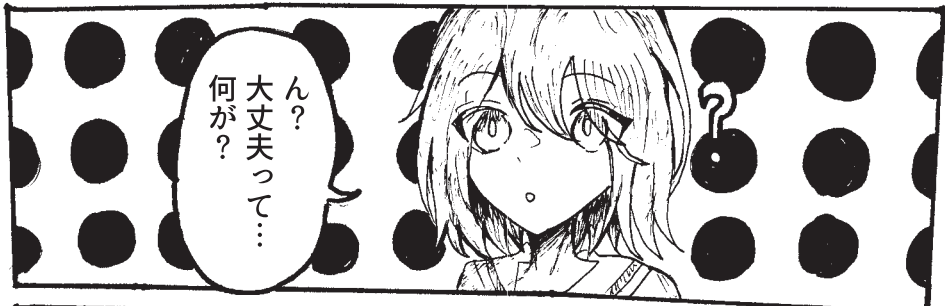
ロボット  
らしいよ

えー!?  
人間そっくり!

エグW

ヤハすぎW





ん？  
大丈夫って…  
何が？



さっきの  
全部聞いてて…



ねえ、  
灯華ちゃん



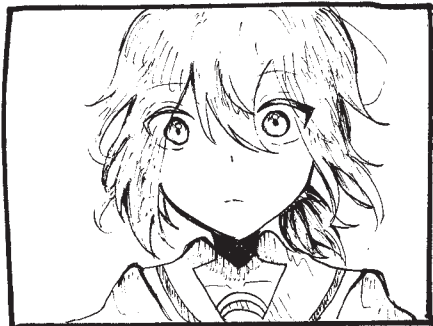
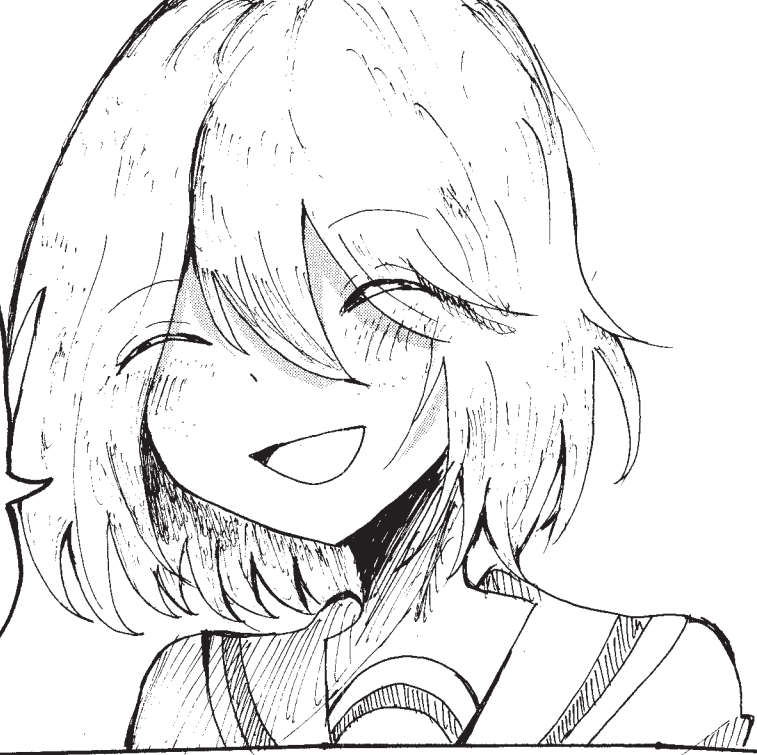
友だちなのに

ごめん

なんで見てる  
だけだったんだろう

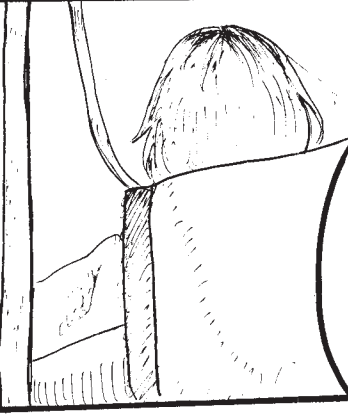
…ごめんね  
私のせいだ

私ね、今すっごく  
幸せなんだよ！



だっていつでも  
外に出られるし

誰にも心配  
かけなくて  
すむもん！



灯華ちゃんと  
いっしょに学校に  
行けるし



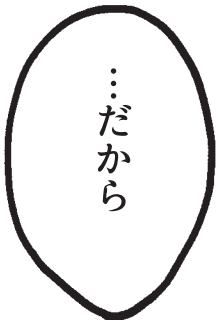
そんな常識  
今は  
全くないでしょう？

昔は  
「死んだあの子はもう  
帰ってこないんです！」  
なんて言われて  
いたけど

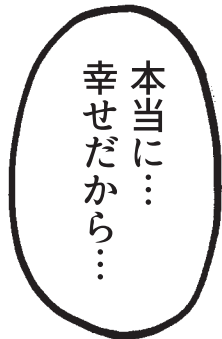


全部  
灯華ちゃんのおかげ

私は本当に  
幸せなの！



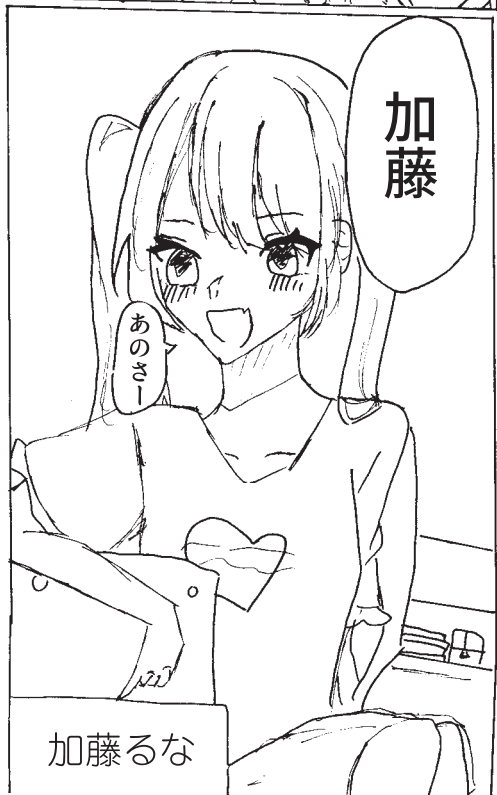
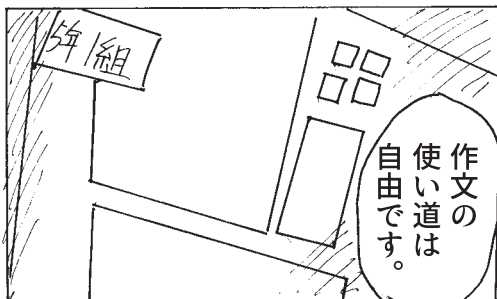
…だから



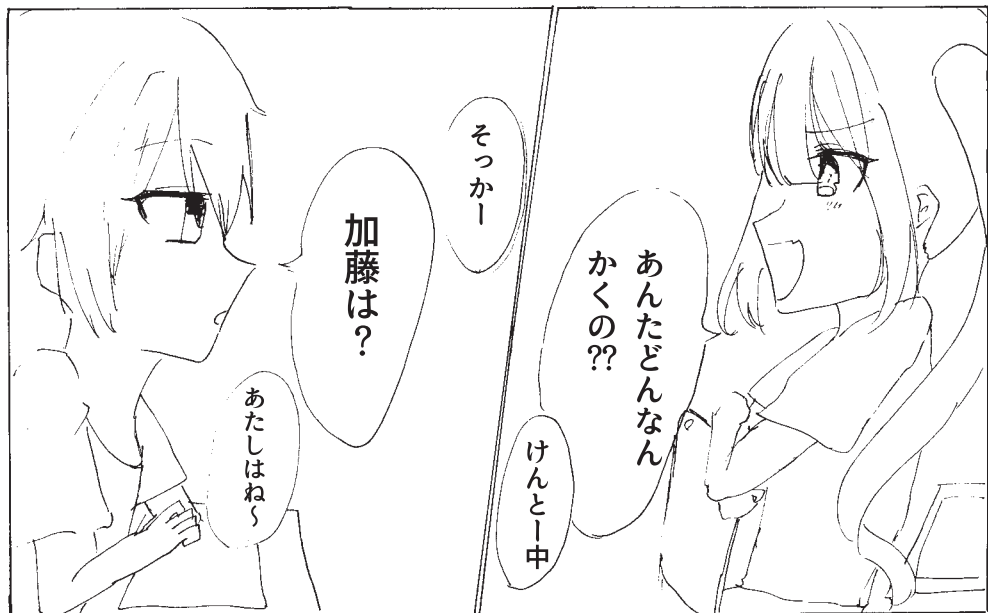
本当に…  
幸せだから…

【コメント】 灯華ちゃんも雪ちゃんも表情がとてもいいですね。二人の顔が似ていたので、もう少し変えてあげるといいと思います。最初に死んだのかどうか気にならせておいて実は…という見せ方がとても上手でした。

泣かないで  
灯華ちゃん

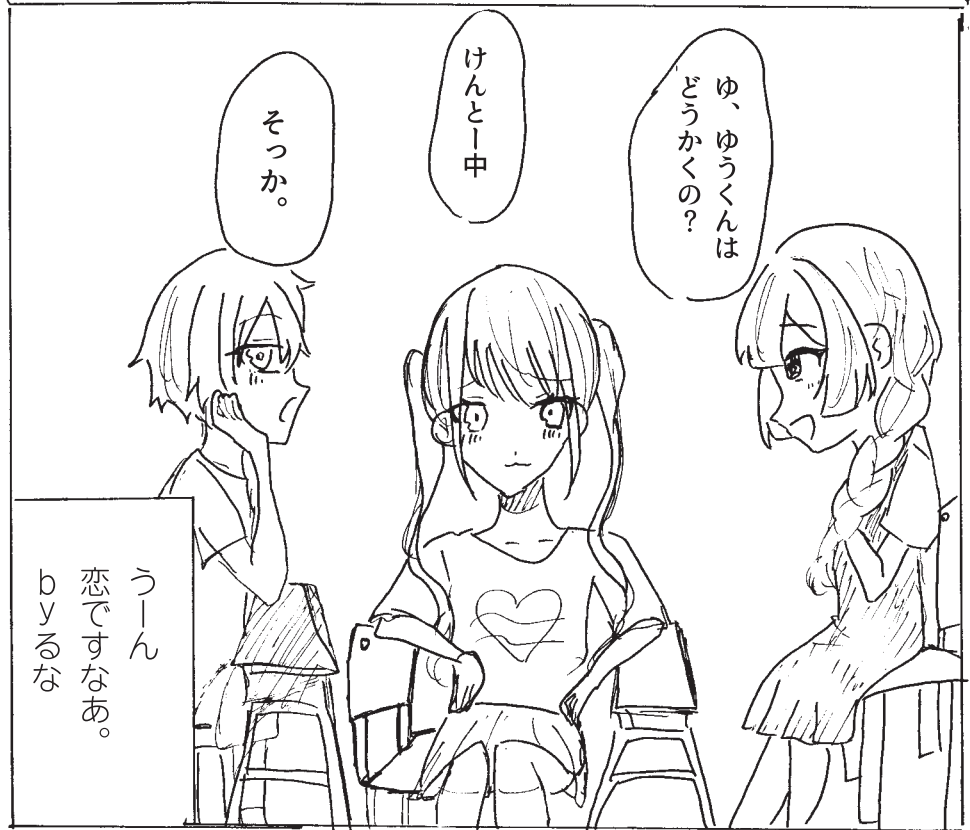


【ポイント】 作文で「15年後の私、ぼくたちへ」を書くコマのところです。









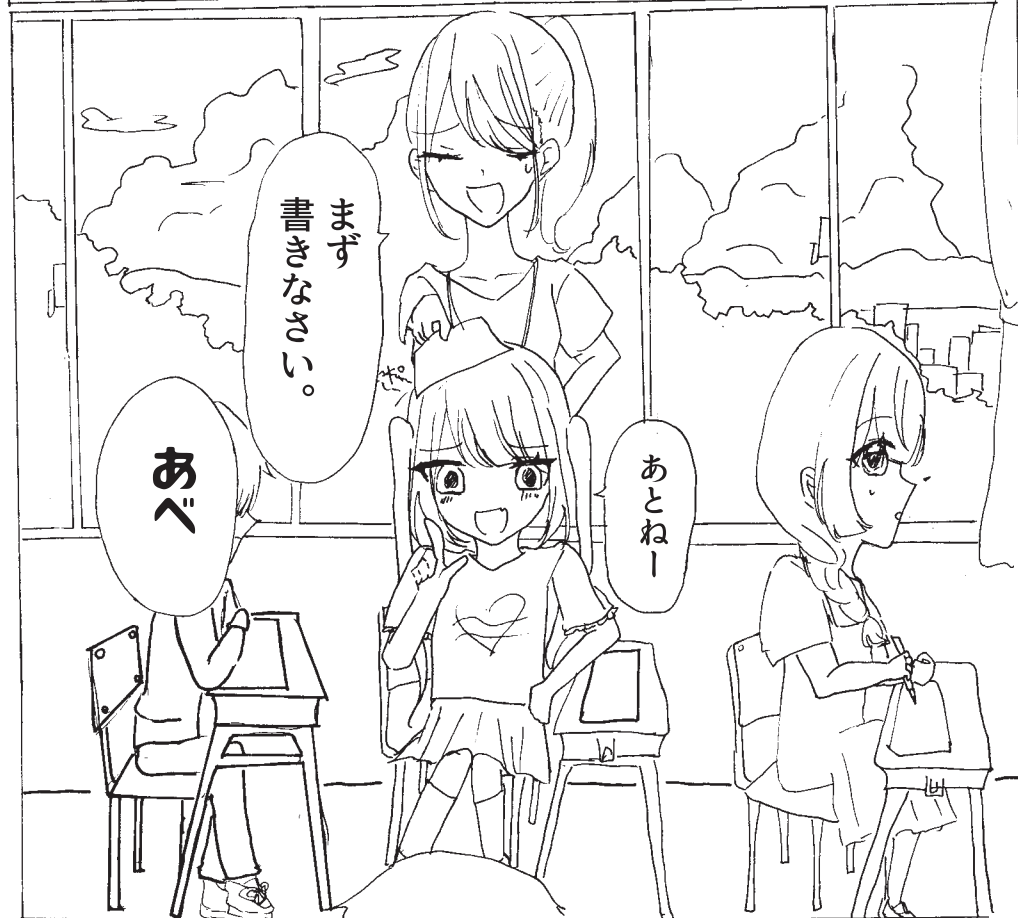




変に現実みず  
夢見たほうが  
絶対いいんだから!



ほんとどいつも  
こいつもわかって  
ないわね〜

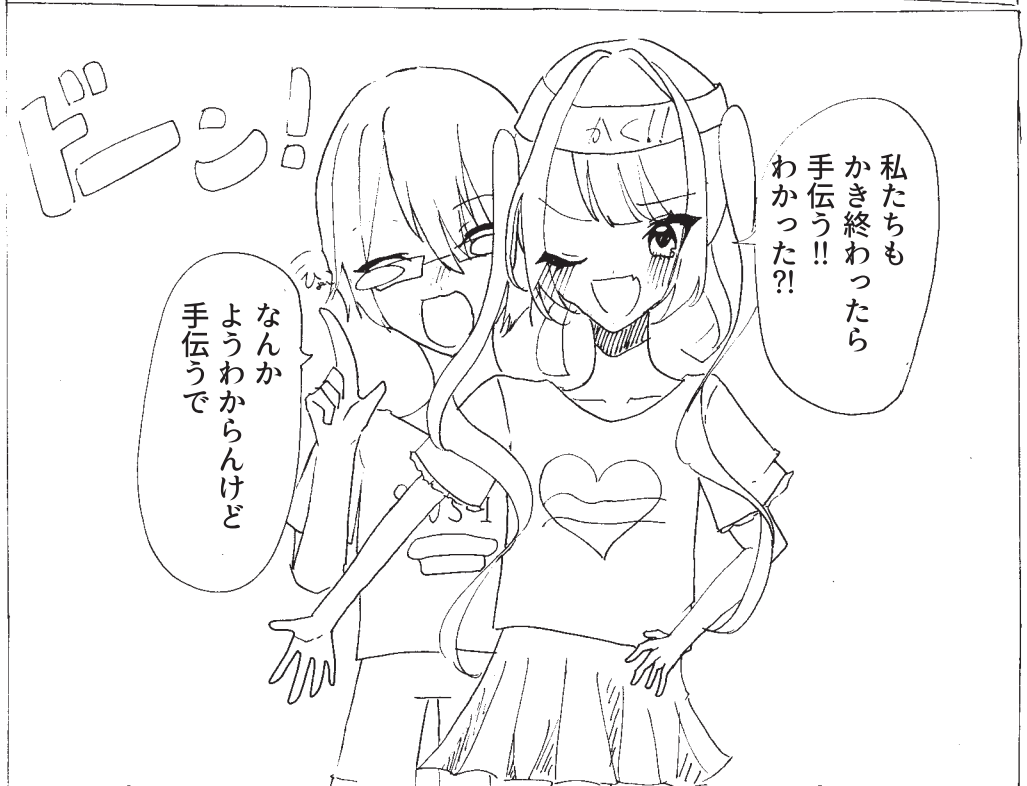


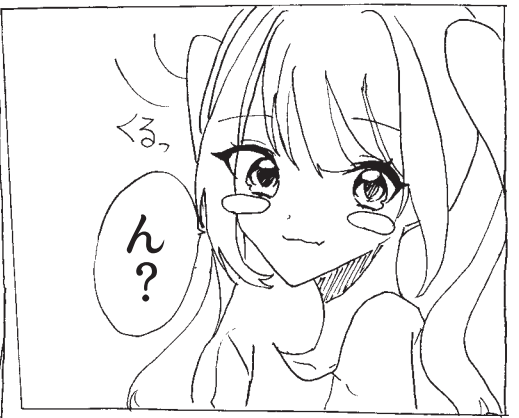
まず  
書きなさい。

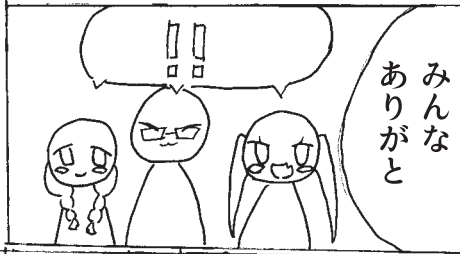
あへ

あとねー





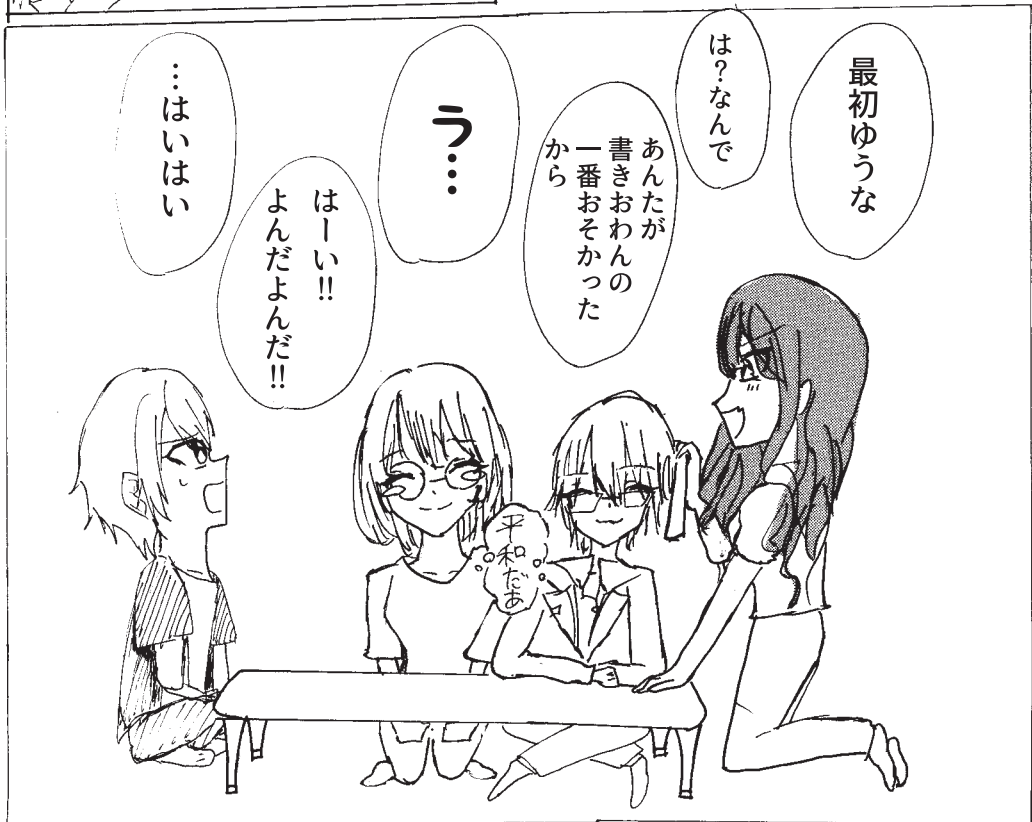




みんな  
ありがとう







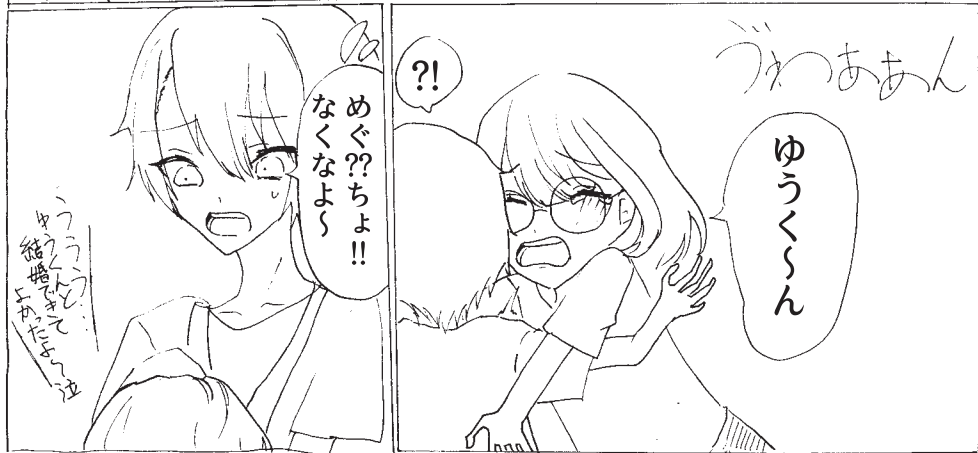




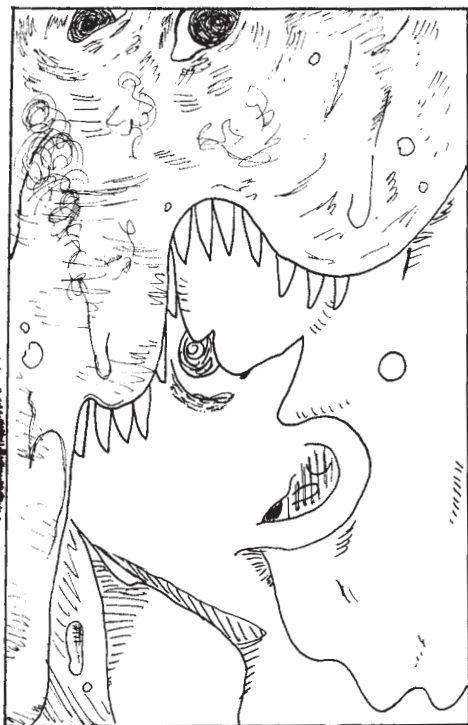
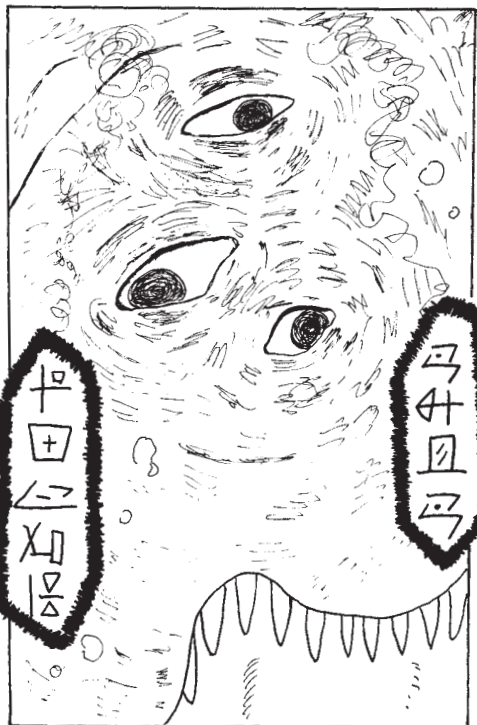
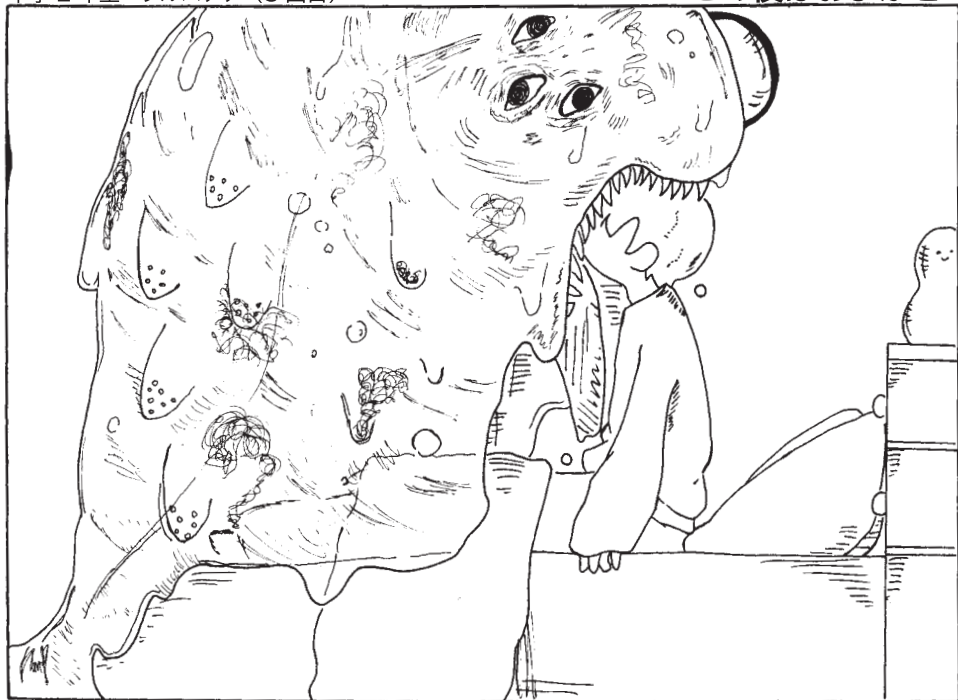
大切な、  
大切な友達と  
これからも、



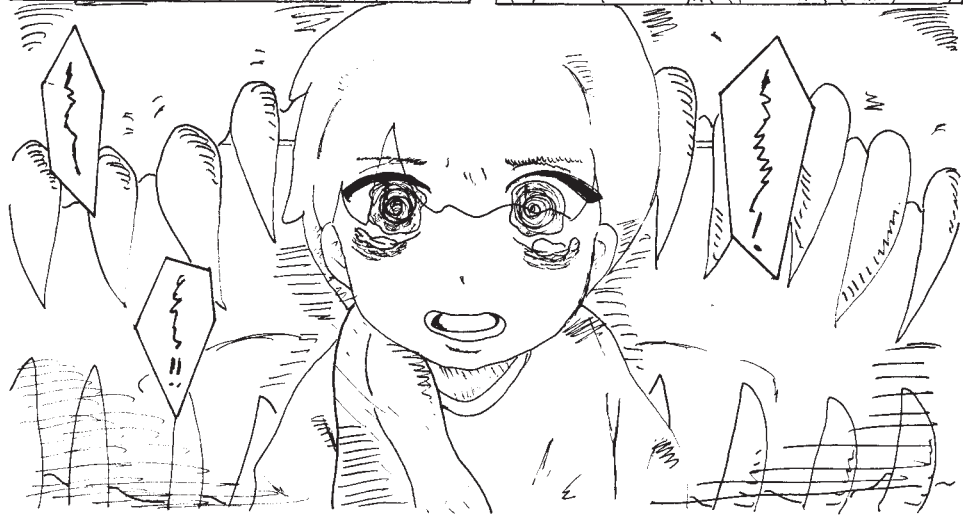
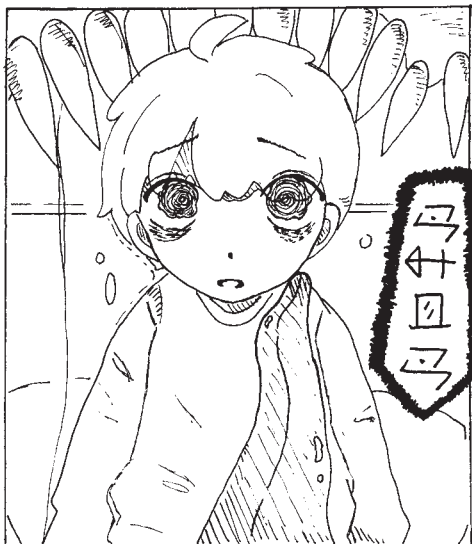
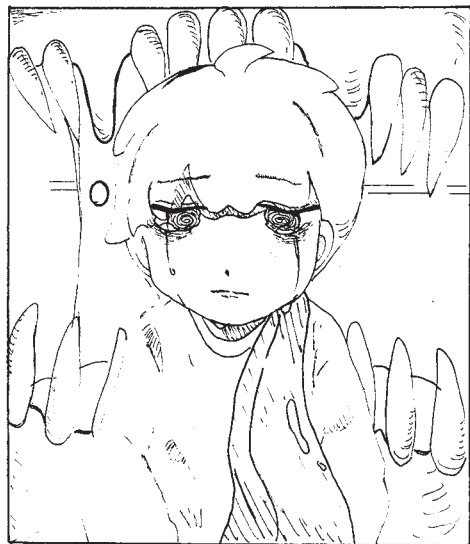
これからも一緒にいてください



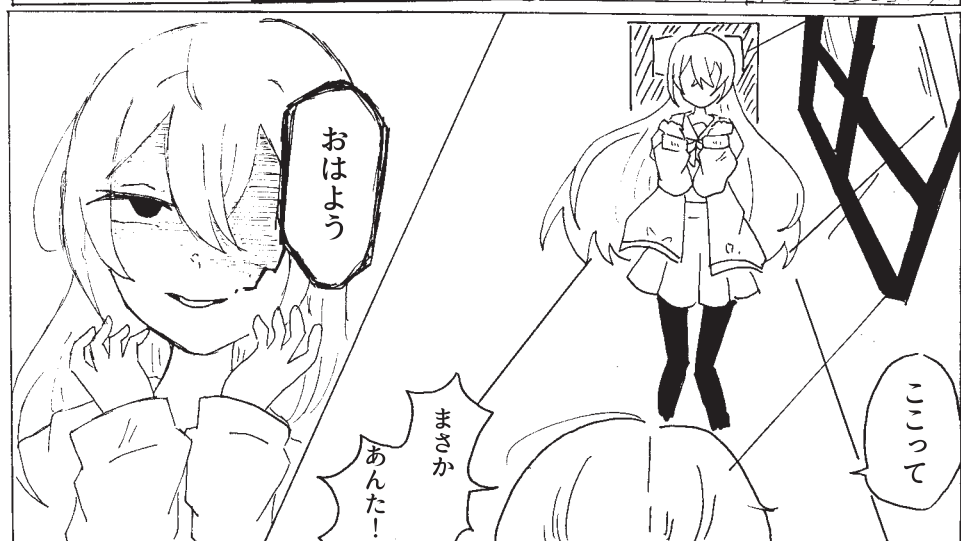
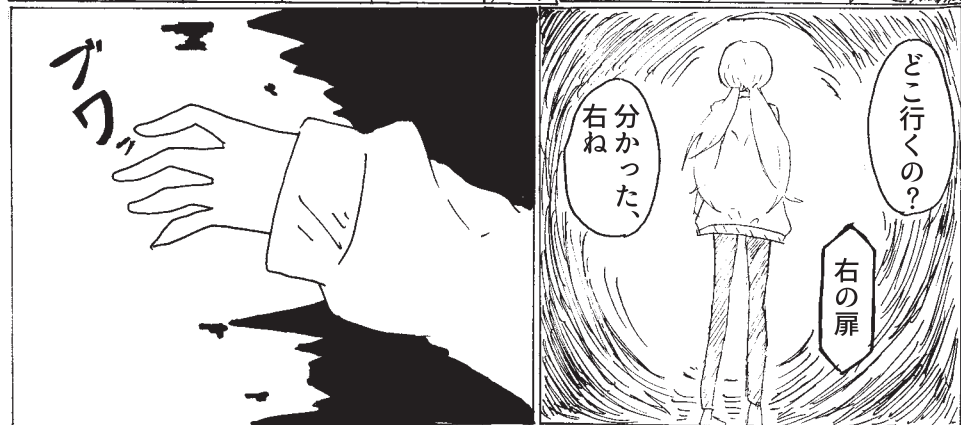
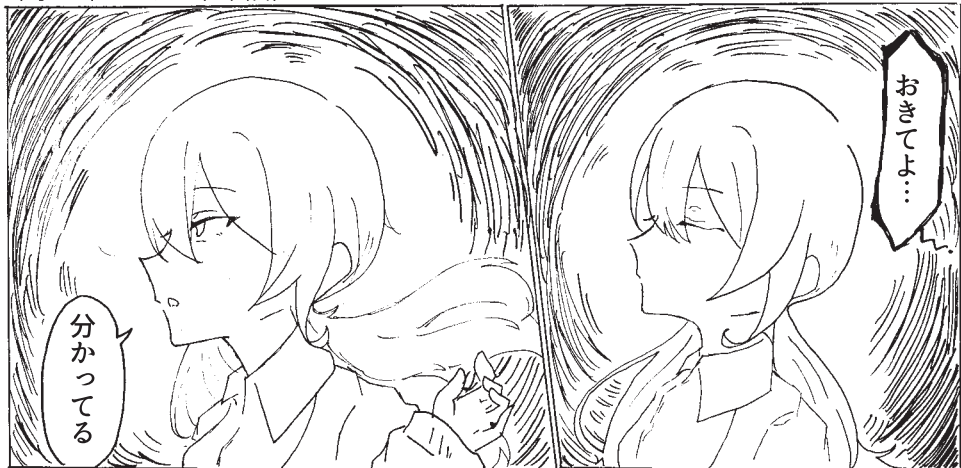
【コメント】4人のキャラクターがそれぞれちゃんと描けているので楽しく読めました。全体的に白っぽいと感じてしまったので、誰かの髪の毛の色を黒くするとか、背景をもっと描いたりして、もう少し黒い部分も作るとよくなると思います。



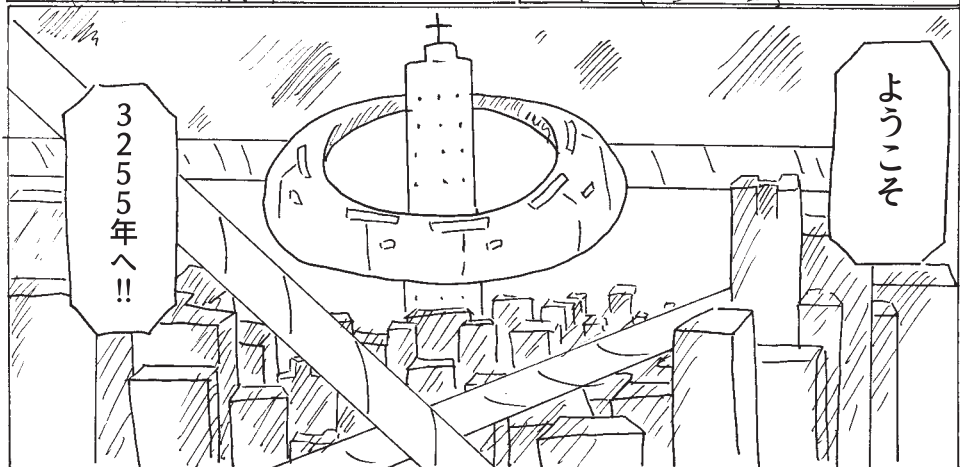
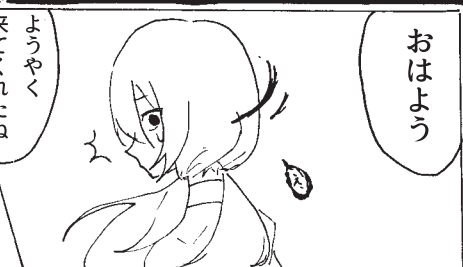
【ポイント】 時間に工夫し、それにミステリーを加えて「ミライ」を表現しました。



【コメント】 いきなり衝撃的なシーンから、たった2ページでしたが気持ち悪さや少年の意志などが感じ取れた気がします。「この後はおまかせ」というタイトルではありますが、やはりこの後のことを読んでみたいですね。

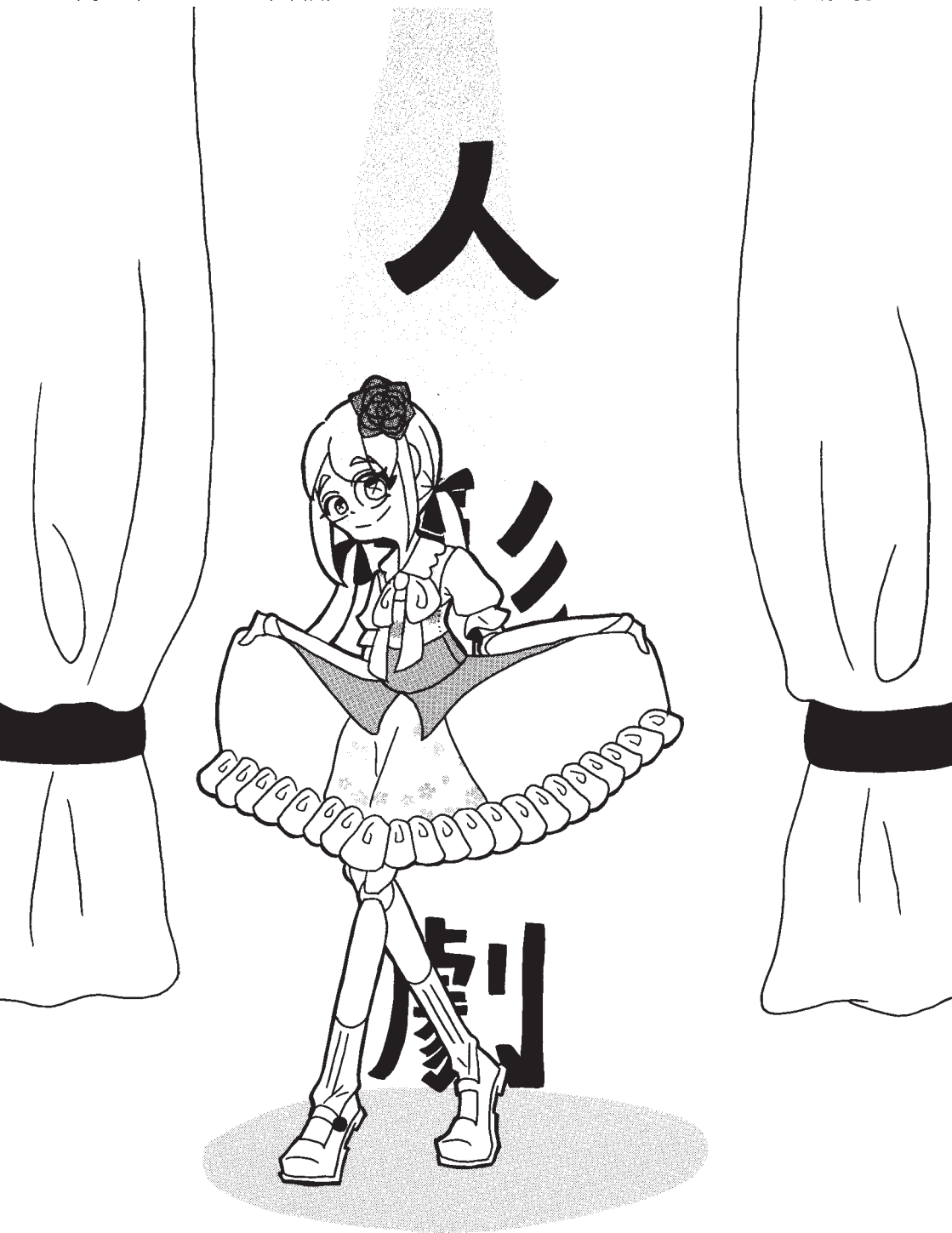


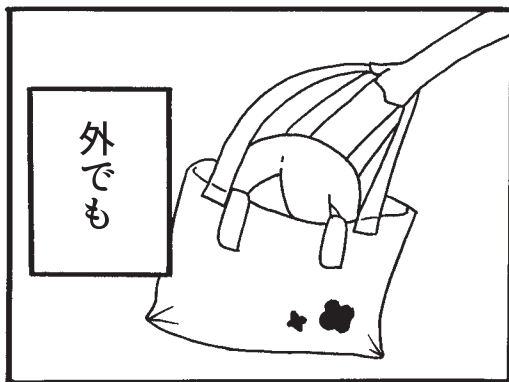
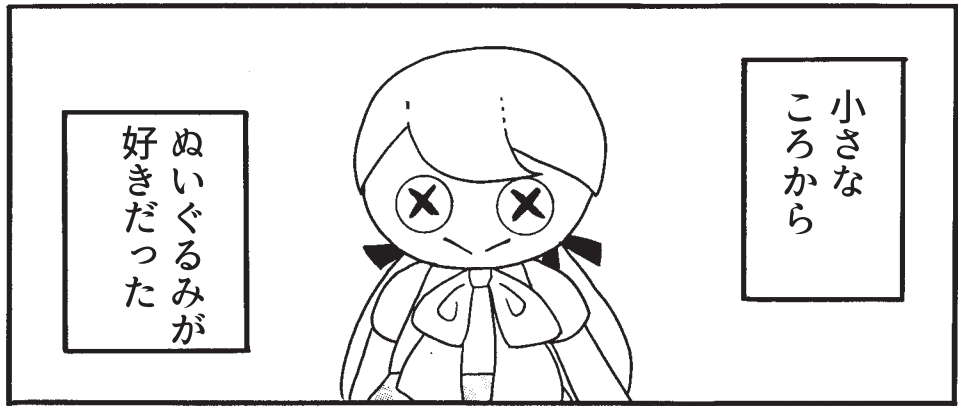
【ポイント】最後のコマの大都市になった3255年の日本に主人公が連れていかれるシーンでミライが発展しているということを描きました。



【コメント】最初の、ぼんやりとした背景ときれいに描かれた横顔との対比がいい始まり方でした。2ページしかなかったのもう少し描いていただいて、この後の3255年の世界はどうなっているのか見てみたいです。

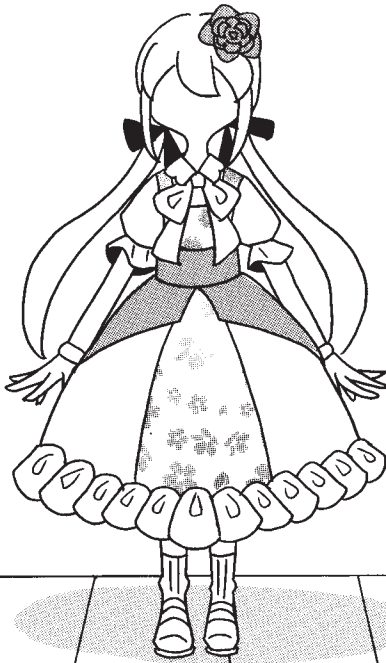




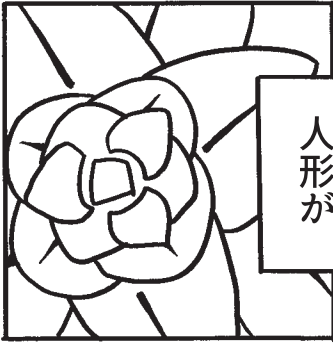


【ポイント】女の子の人形が人間みたいに動いたり、話したりできるようになったら面白いと思って描きました。

人形が



生きて  
いそうな



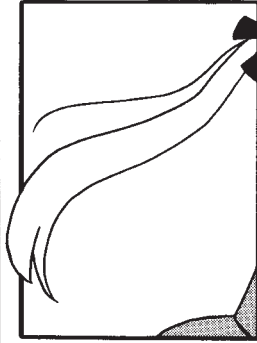
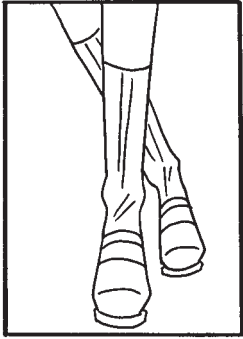
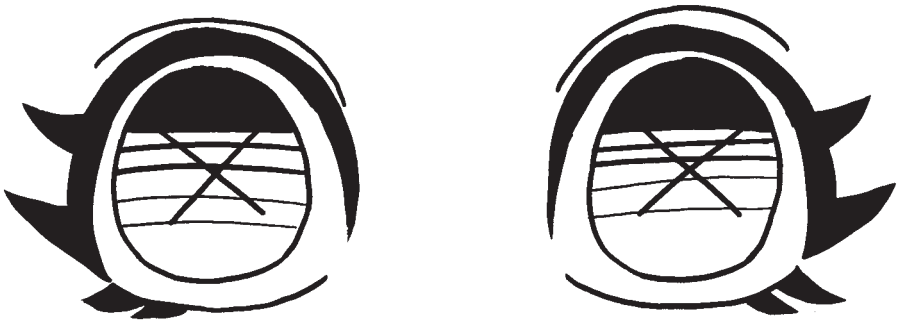
人形が



かわいらしい



もし  
動いたら

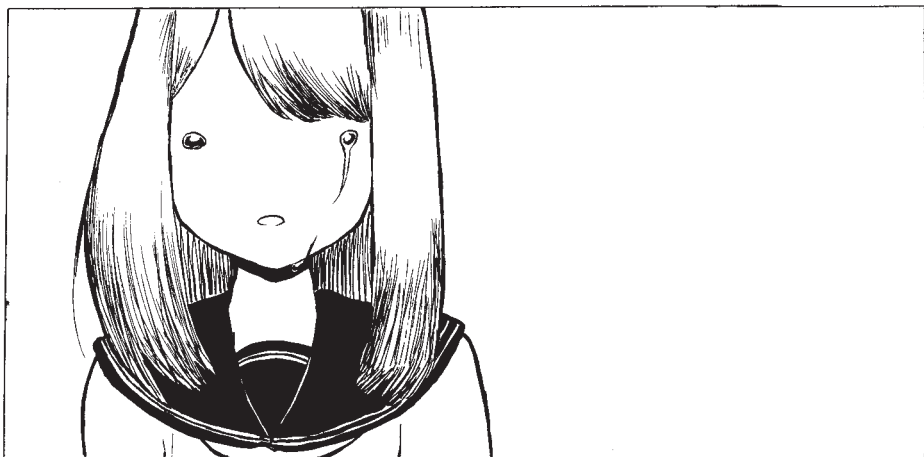
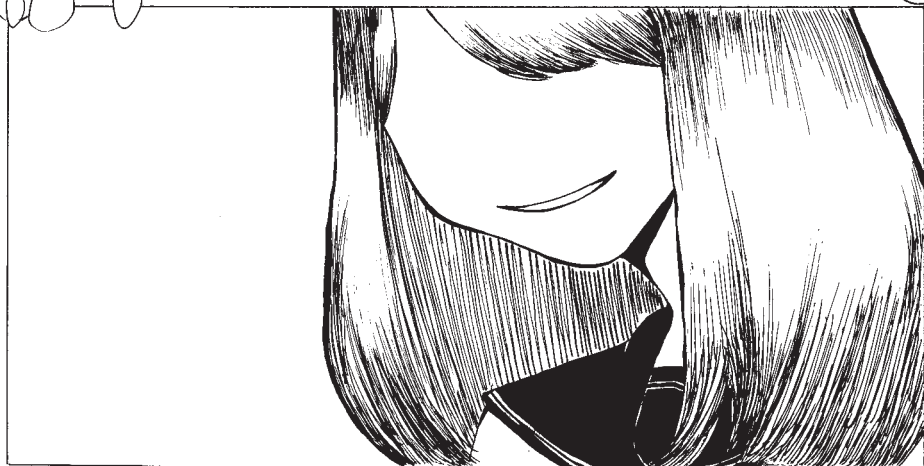
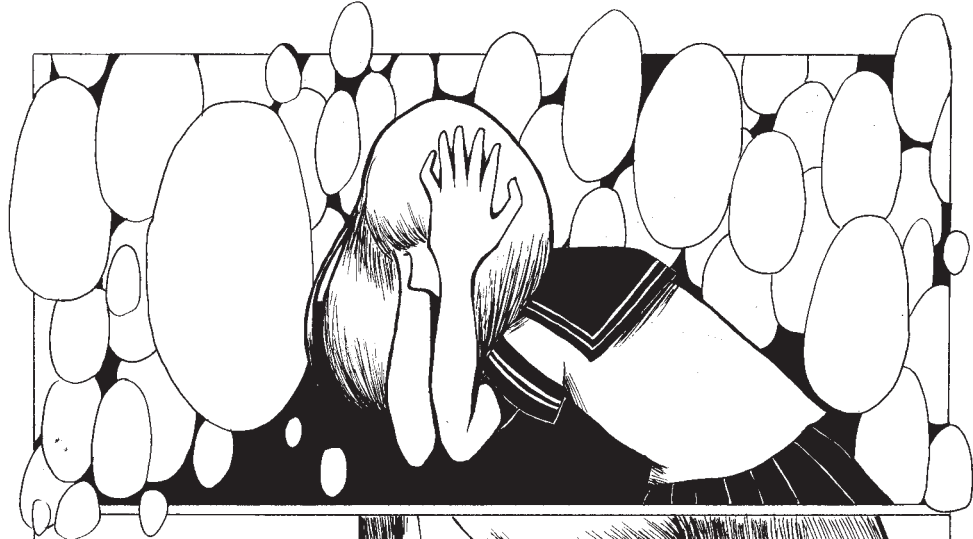


なれ  
ますか？



友達に

【コメント】人形がすごく丁寧に描かれています。急に大きな目から最後笑顔で終わるのも、きれいなかわい絵ながら少し不気味さも感じさせてくれます。この笑顔に信じていいのかわるか…続きが気になっちゃいますね。



【ポイント】 将来が不安な主人公のもとに、未来から来た主人公が現れ、主人公の未来を見に行くところです。

通り雨

自分が嫌だ。

こんなこと思っている内は、  
私はずっとこのままだろう。

今日も私の心に雨が降る。



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

そんな時に、  
この子が現れた。

こんにちは。

あなた、将来の  
ことが心配で  
悩んでいるでしょ？

未来から来た私が。

なんで知ってるの…？

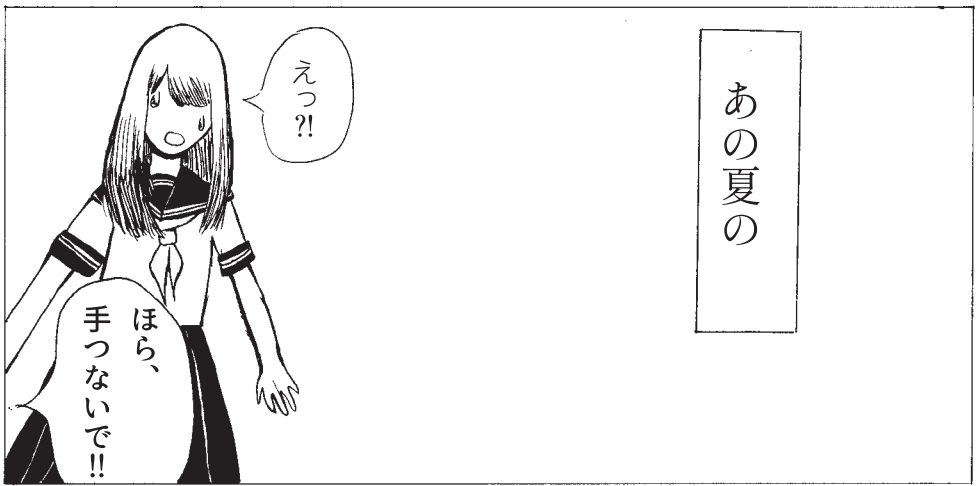
自分のこと  
だもの。

これは、

私ね、

あなたに未来の自分を  
見せてあげようと  
思ってきたの！





# 未来の物語



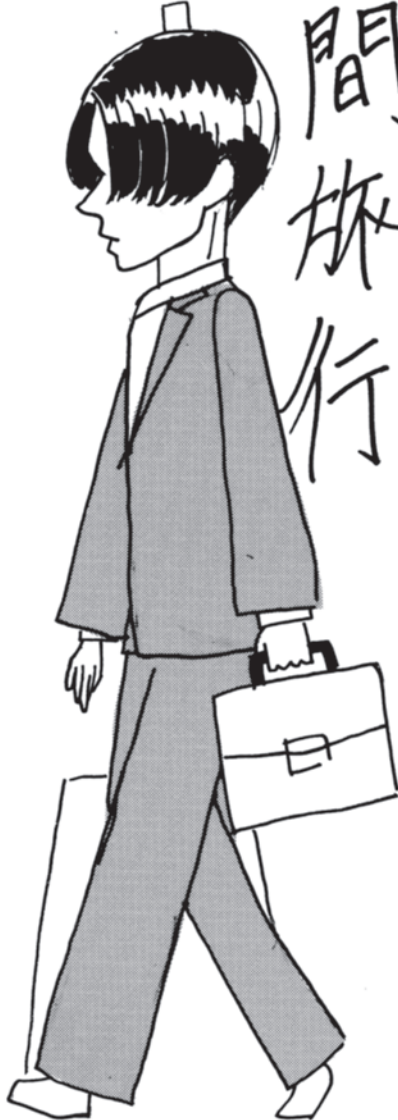
【コメント】素晴らしい表現力ですね。「最低限のセリフと線のみ」なので、読者の想像力をかきたてられます。自分を嫌いと思っている主人公の、繊細な心模様が伝わってきました。彼女の見るミライはどのようなものなのか？ きっと「前向き」に違いありません。



# 時間旅行

「何気ない、いつも通りの日々が、

突然「時間旅行」に変わる——



【ポイント】 タイムトリップをしているところです。

事故にあった。

轢かれたっつ！

誰か119して！

あの車逃げたぞ！

逃げ逃げた！

遥っ！

…ん

…か

俺、死ぬのかな…

…るか

この声どこかで…





…ハツツ!

やっと起きたか…

慧?

そろそろ昼休み  
終わるから行こうぜ

何で高校生に戻っているんだ?

俺、事故にあったはず…



死んでないのか?

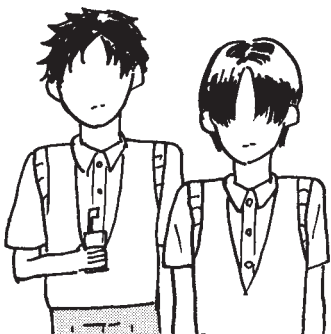
てことは…タイムスリップ!?

そつとしか考えられないな…



遥一? 早く行こうぜ

お、おう

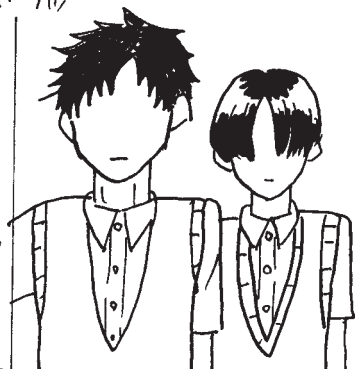
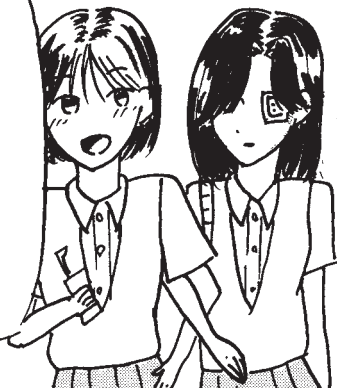


これは、慧に言うべきか…

言った方がいいよな…

あ！替たちきたきた！

ガラッ



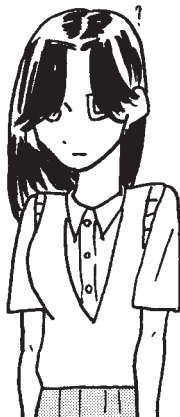
好きな動物なに？

遙くんってさ



好きなんだった。

そうだった。俺、この子のこと



猫…か…



猫かな



どっちかっていうと…

鷹



私、うさぎ

一週間後

タイムスリップして

1週間か…



まだ戻れないんだよな

てか、なんでタイムスリップ

なんてしたんだろ…

タイムスリップってなにか原因があるのかな…



事故にあった時の記憶って…

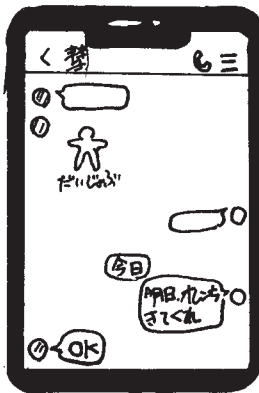
遙…っ！

女の人に名前を呼ばれたこと

なんだよな…よし。

とりあえず、

慧に相談してみよう。



次の日

んで？

どうしたんだ？  
急に呼び出して

ちょっと相談があつてき…

おん、

実は、俺 24年前にタイムスリップ  
していて、24年後の俺は、事故にあつて  
いるんだ。

目を覚ましたら、  
高校生になってたつてわけ。

どうすればもとの世界に戻れるのか  
考えているんだ。

なるほどね

信じた？!

だつてお前  
嘘つけねえじゃん

だとしても普通簡単に  
信じるかよ！  
うれし〜！

どちらにせよ

お、おう

お前のことは  
信じるよ





唯一覚えてるのは…

ん…



てかさ、事故にあったときの記憶とかあんの？

運転手の顔とか、  
どういう風にひかれたとかさ



うえうえっ！

それって銀だったりして

俺の名前を呼んでたことかな



黒い髪の女性が、

遥っ！

遥っ！



例えぼだからな？

う、うん

だけど…あの女性が

銀っていうのも

一理あるんだよな



声　なんか聞きおぼえ

あったし

でも、まずは…

なんでタイムスリップした  
かだよな。

俺が考えるに前の人生で  
高校時代に未練があった  
からかなって思うんだよ。

未練…かあ。

あまりなかった気がするな

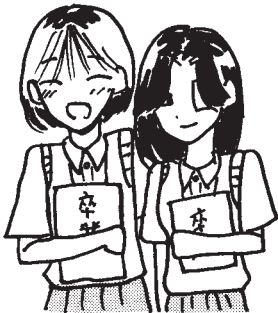
例えば、  
行きたかったけど  
行くことができなかったとか、  
見なかった漫画を  
見れなかったとかじゃね？

お前の場合、

銀に告白しなかったことじゃね？

たしかに…結局  
銀に告白しないまま  
卒業したっけ…

な…



おれに良い案があるんだ

お、おう

まずはさ、告白の準備しようぜ

よろしく!

告白の手伝い

そう

惑?

2日後  
やつほろ彗、遥

告白のされ方は定番の教室で直接が良いらしい。

自分のことをしっかりうけとめてくれる人も好きみたい

まずね、銀が好きなたい人は優しくて性格が良い人

心強い

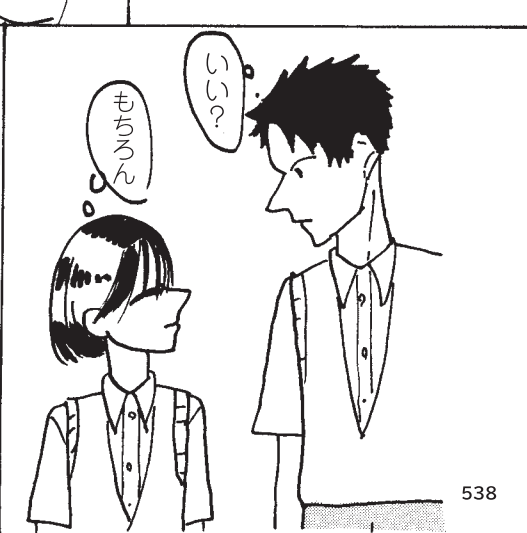
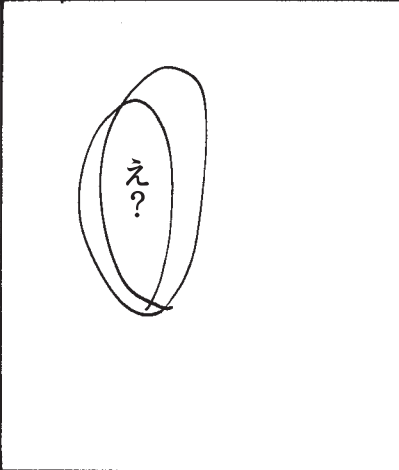
銀といつもいっしょに居るもんな



やっぱり…自分の力で告白を成功させたいんだ

2人に頼っててもダメだなんて

だから、2人には見守っていてほしいんだ。



ものでつるのか

カフェオレ  
↓



銀はね、カフェオレが  
好きなの！

ビッパキャンッ

まずはこれ

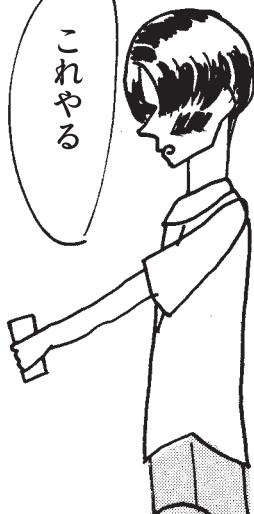
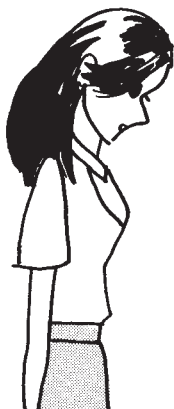


どうすんの？



んで？

これやる



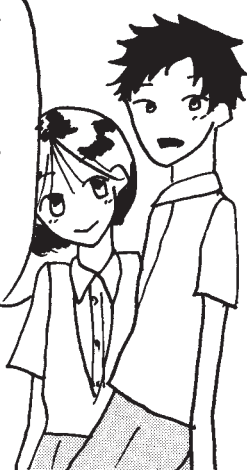
銀



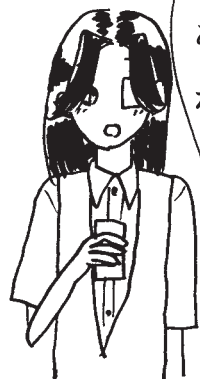
一  
週間後

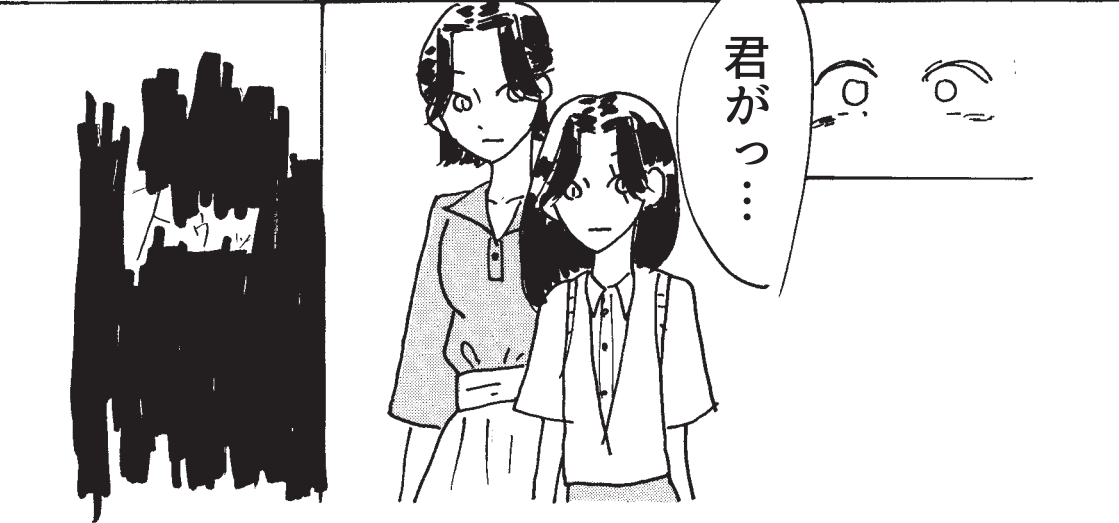
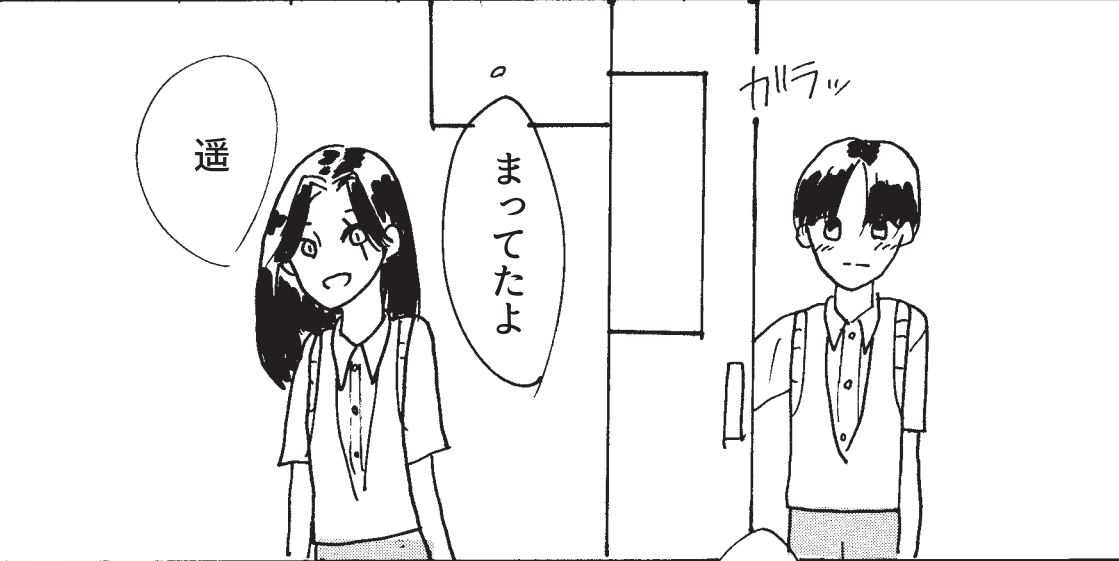
告白も近いかもね

おーいいかんじ



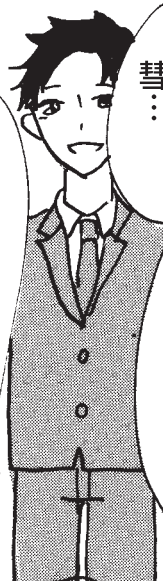
あ、ありがと







遥が目を覚ました!



ここは病院…?  
俺、戻ってきたのか…

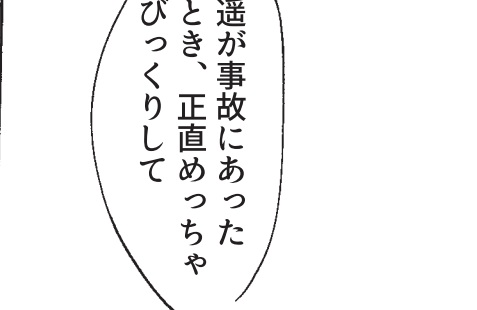
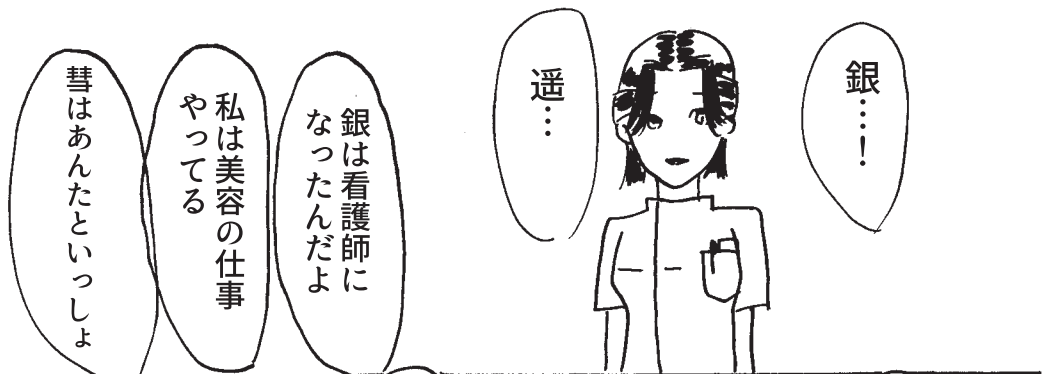


1カ月も寝込んでたんだよ

あれ…銀は?

銀なら…

すぐそこにいるよ!

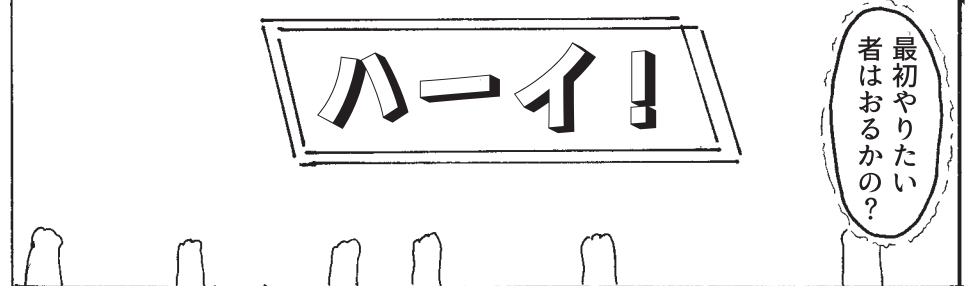
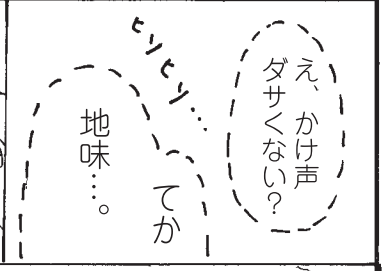
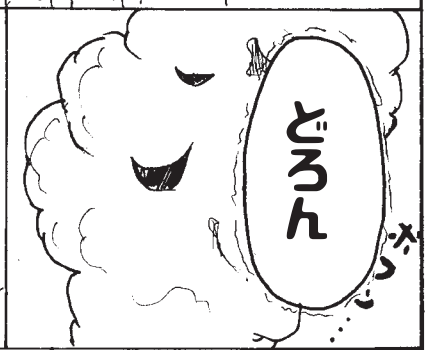
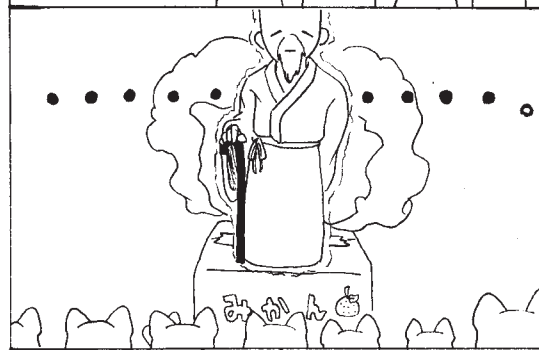


おわり

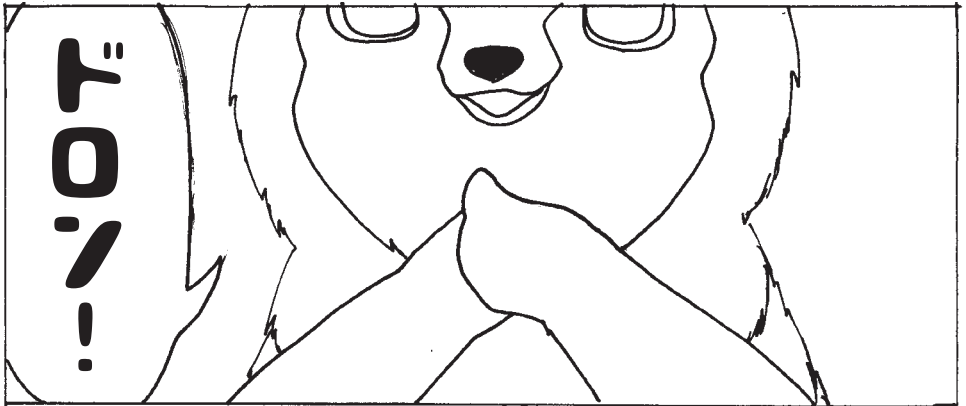
【コメント】よく複雑なストーリーをここまでまとめたなと感心しました。事故に遭ってタイムスリップした主人公がどうなるのか、話に惹き込まれました。キャラクターたちも魅力的で、特に慧が好きです。最後のコマの主人公の表情がカッコいいです。



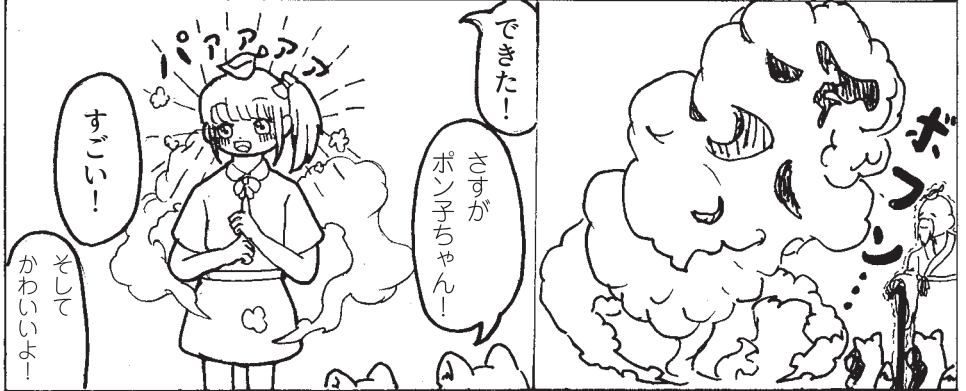




【ポイント】 やればできると成功している未来を信じて挑戦し続けようと思志を持つところです。夢だったけれど、それを未来の姿として目標にしたためぎを描きました。



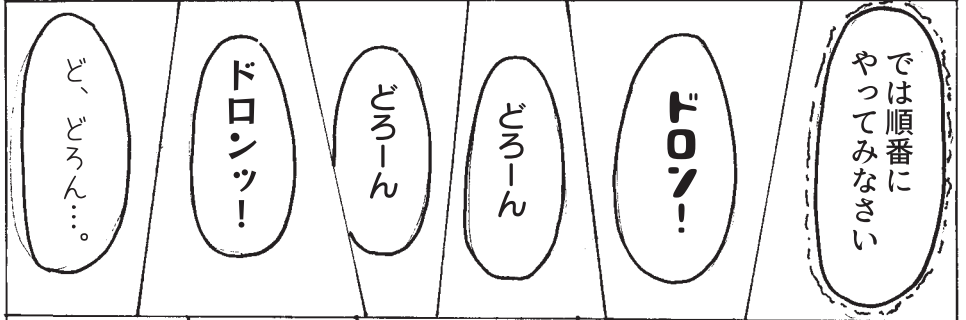
ポン!



すいー!

わんわん  
かわいさー!

できた!  
さすが  
ポン子ちゃん!



ど、どろん...

ドロロン!

どろん

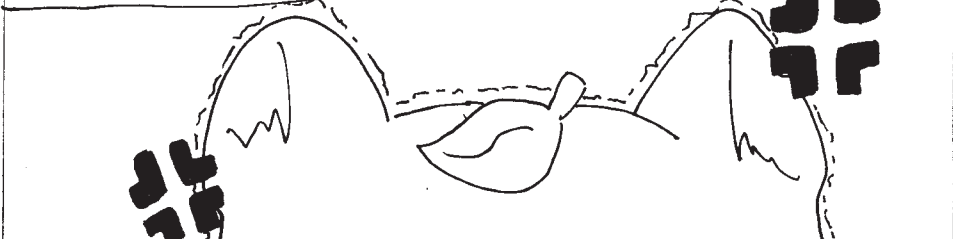
どろん

ポン!

では順番に  
やってみなさい



あとはお前だけだな  
ポン太!



1ヶ月後...



【コメント】 たぬきの設定がおもしろいですねー。タイトルも最高です。「どろん」って唱えて変身するシーンが気持ちよくて、ちょっと自分で小声で言っていました(笑)。ポン太が一番イケメン? 読んで楽しい気持ちになる作品でした。

未来の私へ



放課後

ね、駅前のカフェ  
行かない？

え、行きたい！

え!?

マンガ貸してよー

絶対やだ

そういえば…

ガヤガヤ

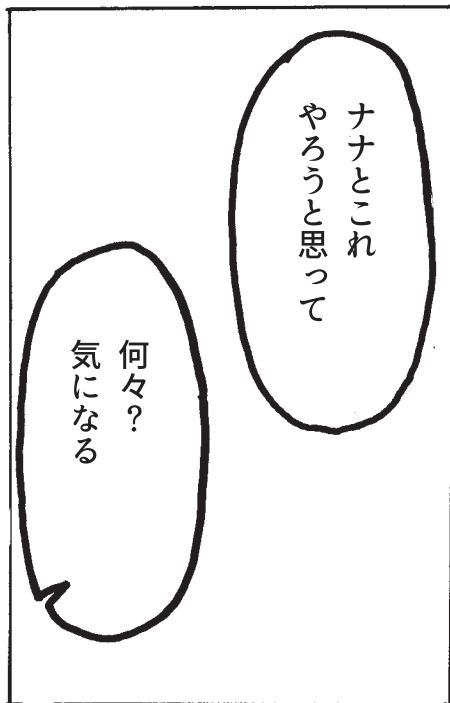
ワイワイ

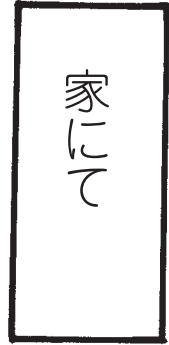
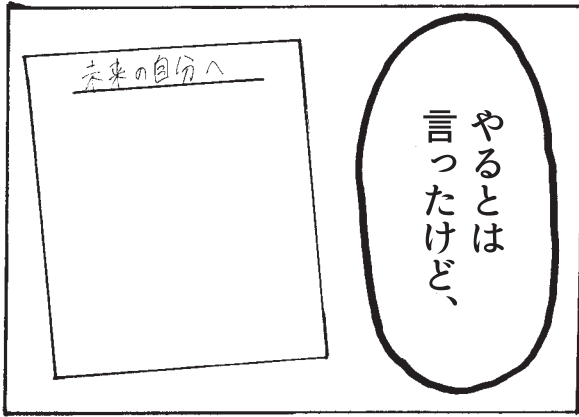
ナナー!!

んあ？

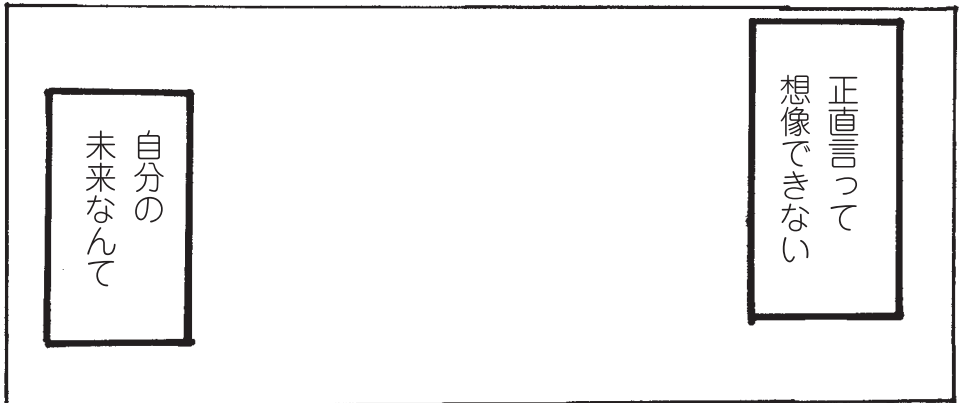
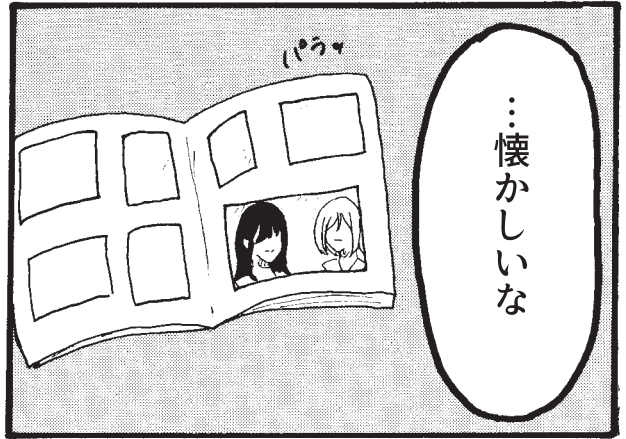
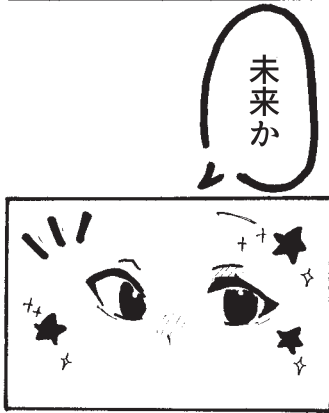
来ちゃった♡

サラ!?









よし、そろそろ  
続き書こうつと

ただ

ずっとサラといたいたいかな

未来の自分へ

私はまた"  
サウと一緒に  
いますか？  
友達もいますか？  
で

…なんて

自分はあまり  
未来とか考えた  
事ないけど

☆  
ふふふふ  
——